

「年とともに早く感じますね～」と、最近よく話しかけられる。時の経つ早さのことだ。確かに年とともに、ひと月どころか一年が早いと感じられるものだが、それは何故なのか。あくまでも感覚的なことで、それはまさに錯覚なのだが、問題なのは時に流れ流されて生きている受け身の自分の姿が、どこか空しく浮かび上がってきたりもすることだ。

引き算の人生から、足し算の人生へ。あと何年生きられるのかという不安を抱いての人生よりも、今日も生かされ生きている喜びと感謝の思いをもって今を精いっぱい生きることができたなら、時の経つ早さは問題にはならないのではないだろうか。とはいうものの、生き方への難しい課題だ。

お盆を「縁」として



祖父江 M・Y

今日は、八月の月命日にあたります。お盆も近いことから、朝からお仏壇のお掃除をして、住職のおいでになるのを心静かに待っていました。

お盆には欠かすことができないほうずきは自家栽培のものですが、今年は例年より出来が良いようで、根元はもうすっかり色づいていました。他に白いパンパス（フスキの仲間）と、蓮の蕾などを添えてお供えをし、お仏壇の荘厳を濟ませました。やがて読経が始まり、「先祖様を偲びながら手を合わせました。時折部屋の片隅では、毎年育てている鈴虫が大きく羽を広げて涼しげに鳴いていました。とても心穏やかな時が流れていきました。

光受寺通信には「今年もずいぶん暑い日が続きました」と書かれてありましたが、秋の気配も鈴虫の声とともに静かに、しかも確実に忍び寄り寄ってきているように思えます。先祖を偲びながらお盆を縁とし、自分の目で見て、自分の耳で聞き、自分の肌で感じ、生かされていることへの感謝の思いを強くしていきたいと思っただけでした。

「念仏の生まれる生活を共に」の光受寺御遠忌のテーマの心をいただいでいく人生の歩みを、改めて思い考え続けていきたいことだと思います。

「お盆」の思い

本町 O・Y



厳しい暑さともにお盆がめぐってきました。

古来、お盆には、亡くなった人の霊が帰って来るといわれています。

子供のころ、毎年お盆の前には、父に連れられてお墓の清掃や提灯を立てに行き夕暮れになると提灯に灯火し、お盆が終われば、また片付けに行ったものです。

「何で提灯立てるの?」「我が家の墓の目印で、先祖様が迷わんように来られるようにな」「そんなものかな?」と聞いていた記憶があります。

以来、「先祖様や亡くなった人の霊がお盆の期間中は帰って来ると思い込んでいました。先祖様の霊が「石の家に帰って来たり、出かけて行ったりできるものだろうか?」しかし「遺骨を納めたお墓であり、霊が入りしても何も不思議ではないと思うが?」そうすると、「先祖様の魂をお客様として3泊4日おもてなししなければ「無礼かな?」...いろいろ思惑が交錯する中で、墓前で手を合わせ個人を偲び自己を省みる良い機会をいただきました。過日、勉強会において真宗門徒はお盆という行事を自分自身の仏法聴聞の「縁」として大切にされてきたことを学びました。

今までの私の聴聞は、耳で聞いて合点している知識みたいな聞き方で、正しく理解していませんでしたので、どれだけ聞いてもわからないことが多くありますが、弥陀の救いを喜べる身になるには、聞法に足を運ぶことがいかに大切な

秋季永代経

平成24年9月22日(土) 9時30分より
午前・午後 お斎あります。
説教 西松 義尊師

いよいよお彼岸も近くなり、過ごしやすい季節がやってまいりました。

当寺ではこのお彼岸に合わせて、毎年永代経をお勤めさせていただいております。

永代経は心静かにご先祖を忍び、願われて今ある私のありがたさに思いを致し、生きること、生きていくことの意味を問い、自らが極楽往生を願う日でもあるのです。

お忙しい毎日をお過ごしのこととは思いますが、聞法のある人生の始まりに、またより深まりある人生を歩むためにも、是非お参りいただきますことを心から念じております。

光受寺改修工事進行状況 9月1日現在

「ご門徒の皆様、また縁ある多くの方々からのご浄財により、ようやく本堂につきましては、完成をいたしました。今月には、業者からの「受け渡し」を受けたいと思っております。勤募状況につきましてもおおよそ順調にご協力をいただいております。心より御礼を申し上げます。

また本堂以外の追加工事の外塀塗装、縁張り、庇取り付け、書院建てお越しなどにつきましては、役員会を中心に、勤募状況を鑑みながら慎重に進めてまいりたいと思っておりますので、何卒よろしくご理解とご協力をお願い申し上げます。

来年4月の落慶、ご遠忌法要には光受寺門徒の心よりごころとしての道場の完成を共に慶び、併せて親鸞聖人七百五十忌御遠忌を奇しくもお勤めさせていただく縁をいただけたことを、喜びと感謝の心をもって受けめ、より一層の念仏相續の心を篤くしていきたいものだと願っております。

尚、勤募につきましては、二十五年十二月までとなっております。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

勉強会に参加しませんか？

毎月第二土曜
七時より

陽気もよくなってきました。勉強会を通して心のつながりをもってみませんか？仏法の教えを通して、正直に自分を見つめる機会が与えられ、もちろん反省も生まれますが、それ以上にどことなく軽快な心持ちでいられる自分の発見もできるものと思います。

新しい自分に出会う発見の喜びと、新しい人生の始まりがきっと生まれると思います。

若さとは柔らかな心を持つことだと思っています。交流の中で心をほぐしてみませんか？

原稿募集しています。・・・どんなことでも可。よろしく。

い
か
？
わ
い



稚児募集いよいよ始まりました。

平成二十四年九月より
平成二十五年三月末日まで

- 1、まずは電話か、直接任職に参加のご意志と、参加稚児人数をお伝えください。
 - 2、参加人数分の申込用紙を直接、あるいは郵送にてお届けいたしますので、必要事項をご記入の上、参加費用を添えて、何らかの方法で光受寺までお届けください。
 - 3、後日、当日の集合場所等の詳細についての案内文をお届けします。
- 参加費用は・・・稚児一名につき6千円(衣装・記念品等)です。
- ※当日欠席の場合は、参加費用の返却はできかねますので、あらかじめご了承ください。